

第73回講演会

＜南朝方の拠点小田城は北畠親房の単なる寄留地か？＞
「小田国府」の可能性を探る

延元3年(1338年)初冬、北畠親房は小田城に入った。かくして小田城は南朝勢力糾合の要衝になった、と説かれる。特にこの要衝から陸奥白河城主の結城親朝にあてた夥しい北畠親房書状・御教書・目安などはその証左として著名である。さらには、この時期の関東の各武家所伝の軍勢催促状・着到状・軍忠状・感状などは南北両党の立場を異にしながらも、当時の合戦史を語るに不可欠の歴史資料である。

「小田城」は南朝方の単なる軍事拠点(要衝)として数年間の歳月を経たに過ぎないのか？
「小田城」に集まった南朝系の人々の大目的は何なのか？ に迫ってみたい。



講師：糸賀茂男氏

日 時

2025年3月1日(土)

13時00分～ 開場

13時30分～15時30分 講演・質疑応答

会 場

つくば市大穂交流センター

つくば市筑穂1丁目10-4

定 員

先着80名 (事前申込必須)

参加費

300円 (資料代等)

申し込み／問い合わせ

可能であれば下記 E-mail でお願ひします。

藤原 fsatoshi@mail1.accsnet.ne.jp

松浦 matukan18@yahoo.co.jp

谷貝 kz-yagai@mail1.accsnet.ne.jp

つくば市(旧筑波町)生まれ、慶應義塾大学卒、慶應義塾大学院博士課程修了。博士(史学)
常磐大学教授を経て、同大学名誉教授。併せて土浦市立博物館館長、国指定史跡上高津貝塚歴史の広場館長、などの社会貢献で活躍中。
専門は日本中世史で、茨城県内外の自治体史編纂(18市町)や『図説茨城県の歴史(共著)河出書房新社』『茨城県の歴史(共著)山川出版社』『常陸中世武士団の史的考察(単著・岩田書院)』『常陸中世史論集(共編著)岩田書院』等があります。
地域文化功労者(文部科学大臣表彰)・叙勲(旭日双光章)

楽楽大学のこれまでとこれから

- | | | |
|------|-----------|----------------------------------|
| 第68回 | 3月 9日(土) | 認知症の1次予防、認知症への寄り添い、役立つ脳トレ紹介 |
| 第69回 | 4月14日(日) | 70歳からの正しいわがまま(出版記念講演会) |
| 第70回 | 5月25日(土) | 江戸時代の歴史に残る郷土の農政学者「小田村庄屋 長島尉信」に学ぶ |
| 第71回 | 9月29日(土) | 矢中の杜の魅力と保存活用ー国重要文化財指定一周年を記念してー |
| 第72回 | 10月19日(土) | 共生社会実現の可能性と教育改革を考える。 |
| 第74回 | 4月12日(土) | 地球の温暖化と気候の変化～この暑さはどこまで行ってしまうのか～ |

田中喜代次氏
平野国美氏
仲田昭一氏
森洋氏・中村泰子氏
岡本智周氏
保坂征宏氏